

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	13	重度の方や認知症の方への対応で、不安を持っている職員に対して、認知症介護の知識や対応方法、介護技術等について、学ぶ機会を設ける必要がある。	職員が落ち着いて対応できる環境・体制作りを行う。定期的に学ぶ機会を設ける。入居者様の状況に合わせて、受診や施設等も検討していく。	毎月行っている職員会議の研修に介護技術や認知症の方の対応等について深く掘り下げて、実施する。 嘱託医や関係病院、特養などと連携し、入居者様が安心、安全に暮らせる場所、対応を検討する。	6ヶ月
2	19	新型コロナウイルスの対応が緩和される中で、感染予防に努めつつ、いろいろな制限も緩和で、可能な限り、外に出たりして、入居者様の気分転換が出来るような環境に配慮する必要がある。また、ご家族からも話が聞ける機会を増やす。	感染予防に努めつつ、面会や外出等の制限を最小限にしていく。また、外出の機会も増やしていく。 ご家族から意見を聞く場面を面会時や電話だけでなく、運営推進会議への参加も働きかける。	ご家族へ面会や外出等の制限について、毎月の郵送物や電話等で説明し、可能なことを伝える。 運営推進会議についてもご家族に声を掛け、可能な範囲で参加していただき、意見・要望等の確認を行う。	12ヶ月
3	2	新型コロナウイルスの対応が緩和される中で、感染予防に努めつつ、地域の方々と同じように関わりを持てるようにしていく。	運営推進会議で、施設の現状を伝えていくと共に、回覧板等にある地域の集まり等に、出来る限り参加し、地域と関わりを持つ。	感染症の感染状況を確認しつつ、運営推進会議を対面で行えるようにしていく。 地域での集まり等がある際には、出来る限り、参加し、関わりを持つようにする。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。